

漁海況情報

第537号（平成29年3月16日）

発行：山形県水産試験場 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
 ホームページ：http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/

・水産試験場「最上丸」と庄内総合支庁水産振興課「月峯」は、それぞれ3月14日と3月1日に沿岸の水溫観測を実施しました。50m層と200m層は「やや高い」、それ以外の層は「平年並み」でした。

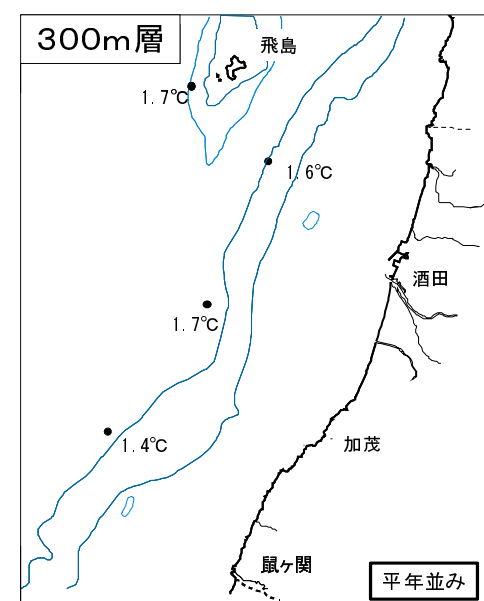
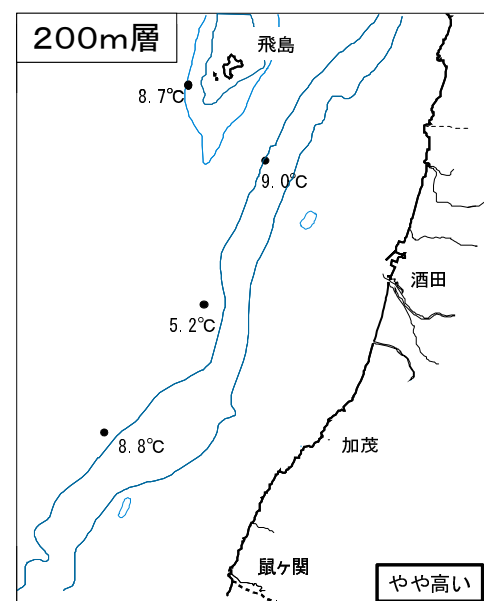
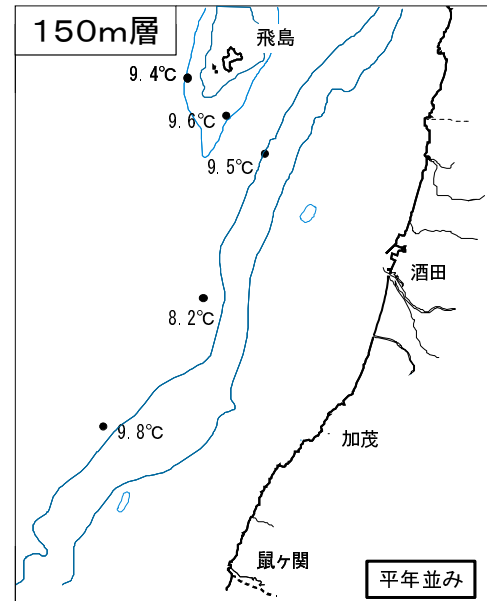
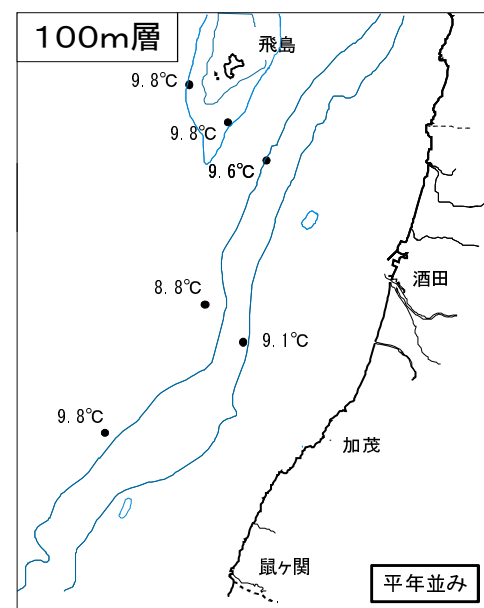
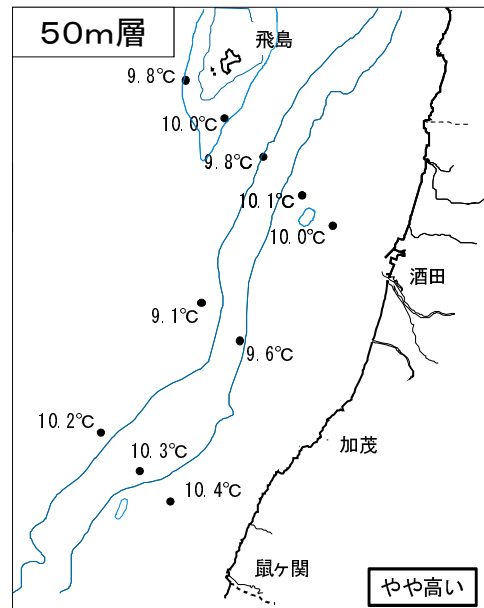
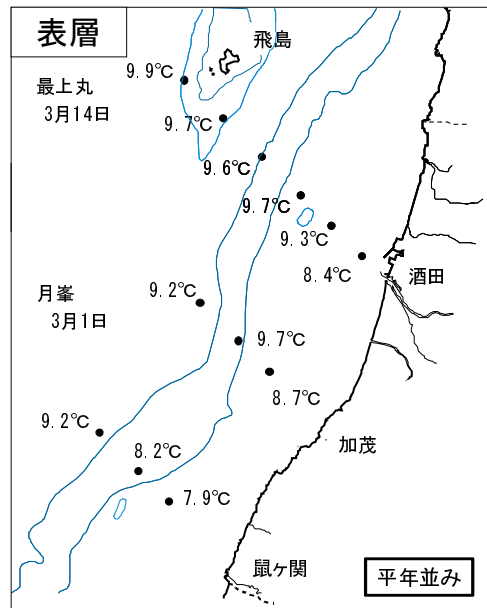
・2月の地先水溫は、鶴岡市加茂（水産試験場）、鶴岡市三瀬（栽培漁業センター）ともに「平年並み」でした。

各層別の平均水溫(3月上旬分観測値)

単位：℃

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	9.2	9.9	9.5	9.3	7.9	1.6
前年差	-0.2	-0.6	-0.7	-1.0	+0.4	-0.2
平年差	+0.2	+0.5	+0.3	+0.2	+1.5	-0.2
評価	平年並み	やや高い	平年並み	平年並み	やや高い	平年並み
(前月評価)	(やや高い)	(平年並み)	(やや高い)	(やや高い)	(やや高い)	(平年並み)

評価の表現：“平年並み”は約2年に1回、“やや”は約4年に1回、“かなり”は約10年に1回、“はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



地先平均水溫(2月)

単位：℃

場所	水溫	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	7.5	-0.6	-0.2	平年並み
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	8.9	-0.7	+0.0	平年並み

寒ダラ漁のまとめ

1. 漁獲状況

1～2月の漁獲量は116トンで、前年比56%、過去5年平年比54%でした。

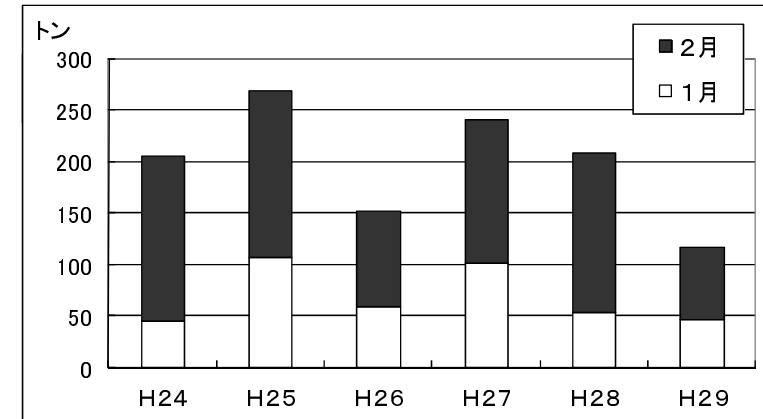


図 山形県におけるマダラ漁獲量(1～2月)の推移

2. 漁獲サイズ(1月上旬～2月上旬)

昨年同様、オスは2～3kg台、メスは2～4kg台が多く、小型個体が主体でした。

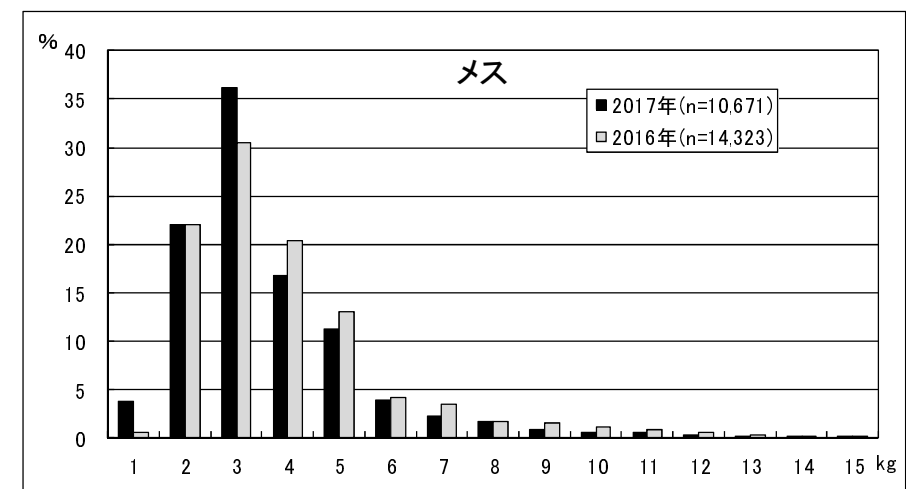
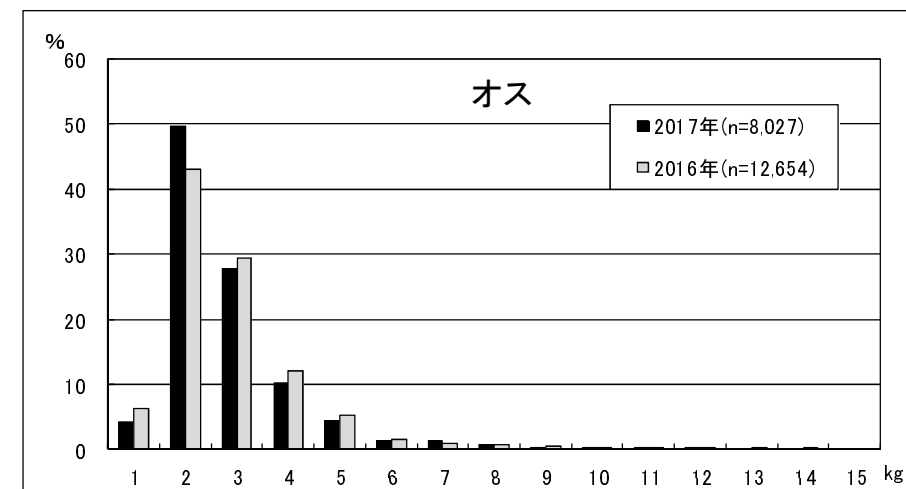


図 寒ダラの重量組成(1月上旬～2月上旬)

2月の漁況

- 延べ操業隻数は657隻で前年比59%、総漁獲量は219トンで前年比67%でした。
- 底びき網漁業の延べ操業隻数は205隻で前年比62%、漁獲量は189トンで前年比66%でした。タイ類、ヒラメ、ウマヅラハギ、カナガシラ、ヤリイカとサメ類は前年を上回り、カレイ類、ハタハタ、スケトウダラ、マダラ、アカエビとタコ類は下回りました。
- はえなわ漁業の延べ操業隻数は56隻で前年比38%、漁獲量は3トンで前年比31%でした。タイ類、マダラ、サメ類、タコ類とブリ類は前年を下回りました。
- その他の漁業では、いか一本釣漁業のスルメイカと一本釣漁業のブリ類は前年を上回り、さし網漁業のマガレイ、たらさし網漁業のマダラ、ふぐなわ漁業のトラフグ、採貝藻漁業のアワビ、サザエ及びナマコ、かご漁業のタコ類と張網漁業のヤリイカは前年を下回りました。

* 前年比は平成24～28年までの平均値と比較した値です。

全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	28	184	105	17	96	60	15	152	657	69%	59%
総漁獲量	16,721	8,098	59,493	800	32,482	16,148	208	84,734	218,683	68%	67%
前年比	67%	57%	63%	79%	65%	75%	29%	74%	68%		
前年比	55%	57%	81%	20%	57%	69%	16%	69%	67%		

底びき網漁業

支所	吹浦	酒田	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	10	33	1	40	23	98	205	67%	62%
タイ類		2,289	2	230	187	4,423	7,132	322%	119%
ヒラメ	8	46	9	292	186	1,411	1,952	92%	126%
カレイ類	42	318	24	1,067	471	2,161	4,084	67%	71%
ハタハタ	6,165	7,816		13,565	6,077	29,066	62,689	90%	71%
スケトウダラ	16	12		1	7		35	7%	1%
アンコウ	80	250	34	991	281	2,301	3,937	140%	105%
ウマヅラハギ		1,852		35	526	206	2,619	345%	151%
マダラ	5,866	29,741		7,616	4,428	19,077	66,727	45%	50%
アカエビ	54	104		548	83	2,752	3,541	36%	40%
カナガシラ	4	70		144	28	1,113	1,359	205%	254%
ヤリイカ	71	155		849	133	5,416	6,624	148%	146%
タコ類	28	67	29	218	26	210	576	36%	45%
サメ類	1,083	2,312	45	3,285	1,646	12,306	20,677	151%	240%
その他	283	1,096	4	978	1,549	2,897	6,807		
計	13,701	46,129	148	29,818	15,627	83,338	188,759	69%	66%
前年比	61%	60%	86%	71%	74%	74%	69%		
前年比	53%	72%	28%	57%	71%	69%	66%		

その他の漁業

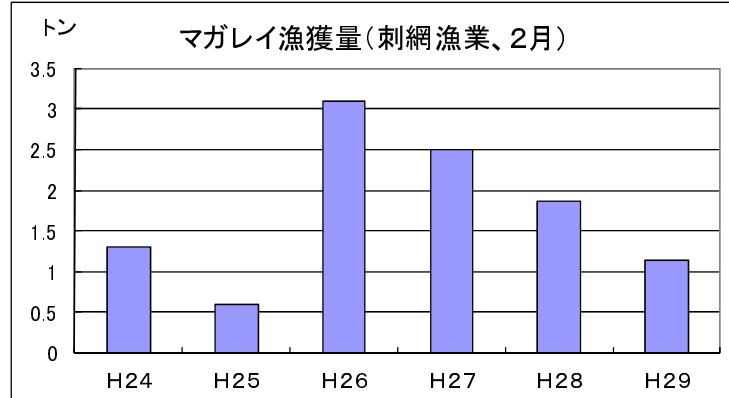
漁業種類	いか一本釣漁業	一本釣漁業	さし網漁業	たらさし網漁業	ふぐなわ漁業	採貝藻漁業			かご漁業	張網漁業
延べ操業隻数	35	33	71	11	2	159			53	9
漁獲量	11,785	1,211	2,775	2,776	157	2,976			2,109	3,241
前年比	59%	296%	75%	278%	64%	61%			103%	108%
前年比	255%	93%	71%	90%	16%	65%			64%	69%
主な対象魚種	スルメイカ	ブリ類	マガレイ	マダラ	トラフグ※	アワビ	サザエ	ナマコ	タコ類	ヤリイカ
漁獲量	11,785	899	1,134	1,255	156	512	609	647	2,109	206
前年比	59%	2,230%	61%	544%	64%	40%	59%	33%	103%	55%
前年比	255%	242%	60%	82%	16%	37%	65%	36%	64%	21%

※平成28年以前は、トラフグ以外のふぐ類が含まれている可能性があります

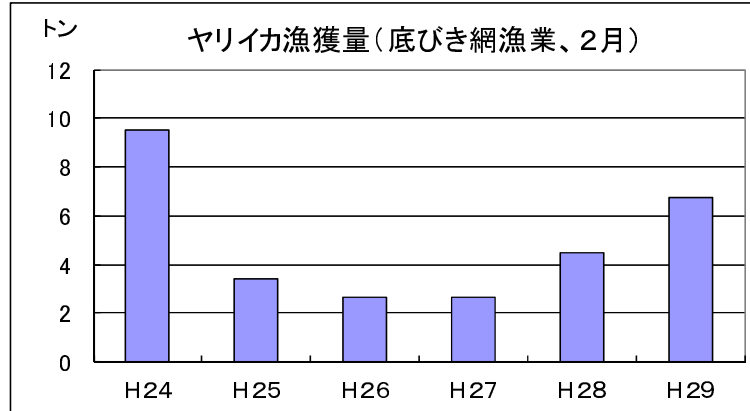
はえなわ漁業

単位: 隻、kg

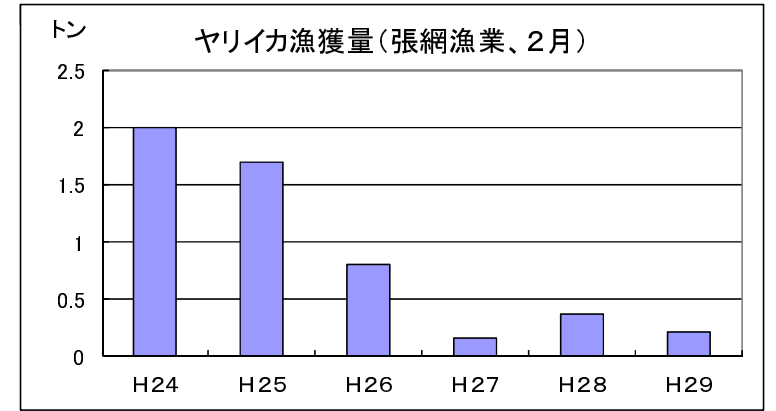
支所	吹浦	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	6	11	4	11	14	2	8	56	61%	38%
タイ類		8			6	37	162	213	21%	12%
マダラ		474						474	17%	26%
サメ類	202	150		43	78			472	24%	20%
タコ類			365	441	20			826	129%	62%
ブリ類		41		13	89	79	150	371	75%	69%
その他	50	118		46	82	11	65	372		
計	252	791	365	542	275	127	377	2,729	37%	31%
前年比	612%	18%	87%	94%	169%	25%	32%	37%		
前年比	189%	20%	78%	63%	46%	16%	19%	31%		



平成26年に3トンに回復しましたが、その後減少傾向にあり、前年比61%、前年比60%でした。



平成24年の10トンを超えて減少傾向にありましたが、昨年より漁獲量の増加傾向がみられ、前年比148%、前年比146%でした。



平成24年の2トンを超えて減少傾向にあり、前年比55%、前年比21%でした。

最上丸の調査予定(3月中旬～4月上旬)

- 海洋観測を行います。
- 底びき網調査(沖合礁)を行います。
- 加入量調査(ハタハタ)を行います。

みなさま、調査への御理解と御協力
よろしくお願ひします。

